

キバラガガンボ

Eutonia satsuma (Westwood)
ハエ目・ヒメガガンボ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では大野市小池と敦賀市池ノ河内で採集記録があった。今回の調査では、大野市上小池のほか、上丁、裕、南六呂師でも確認された。

種の特徴

体長 27 ~ 40 mm。翅長 22 ~ 27 mm。大型で翅に美しい斑紋を有する。胸部は赤褐色だが、中胸背の3条と盾板の大紋は灰緑色。小楯板と後盾板も灰緑色。詳しい生態は不明。

分 布

本州、四国、九州の山地。県内では大野市と敦賀市のブナ、ミズナラ林域の湿地の周りや河川沿いの林で採集されている。

生息を脅かす要因

ブナ・ミズナラ林の開発や、湿地の開発の影響を受けると考えられる。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、平嶋・森本 (2008)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○										○	

アルプスニセヒメガガンボ

Protoplasa alexanderi Kariya
ハエ目・ニセヒメガガンボ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

山岳地帯の溪流に生息し、県内では 1995 年以降記録がない。環境省のレッドリストでも情報不足に指定されており、県内の生息状況の把握を含め調査の継続が必要である。

種の特徴

体長約 7 mm、体は一様に褐色で、透明な翅には顕著な黒褐色の斑紋がある。脚は黄褐色で、腿節末端は濃褐色。翅の後縁部が基部側で直角にはりだす。幼虫は水生で山地溪流に生息。県内では成虫は 8 月に採集されている。成虫は灯火にも飛来する。

分 布

本州（東北地方～中部の山岳地帯）に分布。県内では大野市上小池で記録があるのみ。今回の調査でも奥越地方の山地帯で灯火による調査が行われたが、確認できていない。

生息を脅かす要因

幼虫は水生であり、河川開発等で溪流の環境が破壊されると本種にとって脅威となることが指摘されている。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、環境省 (2015)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

トワダオオカ

Toxorhynchites towadensis Matsumura
ハエ目・カ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

富山県で情報不足、京都府で要注目に指定されているほか、10 以上の県でレッドリスト掲載種となっている。県内でも本種が好むような木洞のある大木が残る環境が減少していると考えられることから、注視が必要と判断。

種の特徴

体長約 10 mm、翅長約 8 mm で、日本最大の力。美しい青藍色の体をしていて、腹部第 6 ~ 8 節の両側に顕著な黒と橙黄色の毛束がある。幼虫は樹洞等に発生し、他種のポウフラ等を捕食する。成虫はオスもメスも花の蜜等を吸い、吸血性はない。

分 布

県内では大野市小池、若狭町常神、御神島、高浜町音海で記録があり、今回、大野市貝皿、福井市足羽山、鯖江市内、越前市、越前町今泉、高浜町下で確認された。

生息を脅かす要因

古い樹洞の残る環境の消失が本種に影響を与える。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、平嶋・森本 (2008)、京都府自然環境保全課 (2015)、富山県自然保護課 (2012)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○				○					○		○		○	○